耳鼻咽喉科

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】<耳鼻咽喉科研修　２か月>

１．耳・鼻・のどの症状への対応を習得できます。
　　外来患者を中心に，病棟患者，各科からの依頼患者の診察から修得（50 例以上）

２．気道確保への対応を習得します。
　　気管切開およびカニューレ管理など（30 例以上）

３．摂食，嚥下の基本と対策を経験できます。
　　嚥下障害の診断，検査，治療など（20 例以上）

４．周術期管理を習得します
　　様々な種類の手術およびその術前後の管理など（30 例以上）

５．鼻出血止血
　　電気焼灼を含めた鼻出血止血法を習得します（10 例以上）

【専門研修に向けて（希望者には！）】

１．手術手技の早期習得（気管切開，扁桃摘出，リンパ節生検など基礎手術）

２．外来診療（専門的な治療に早期から取り組めるよう処置や薬剤の使用方法など）

【研修目標と評価】

一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する耳鼻咽喉疾患に適切に対応ができるように，入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力（態度，技能，知識）を身につける。

行動目標

１．　耳漏，難聴，耳痛，耳鳴り，めまい患者で，検査所見，放射線検査所見の異常から耳疾患を発見できる。

２．　鼻閉，くしゃみ，いびき，鼻出血の患者で鼻疾患を発見できる。

３．　副鼻腔の病変を発見できる。

４．　頚部リンパ節を触知し，原因を鑑別できる。

５．　嗄声の原因を鑑別できる。

６．　口腔内病変を発見できる。

７．　咽頭痛の原因を鑑別し治療できる。

８．　咽頭，喉頭の悪性腫瘍を発見できる。

９．　耳鼻科専門医に適切に紹介できる。

チェックリスト《５段階評価》

知識：

１．　頚部リンパ節を触知し，原因を鑑別できる。

２．　嗄声の原因を鑑別できる。
３．　咽頭，喉頭の悪性腫瘍の鑑別ができる。

技能：
１．　病歴の聴取ができる。
２．　血液検査，心電図の実施と結果の解釈ができる。
３．　注射，採血（動脈血を含む）ができる。
４．　中心静脈カテーテルを挿入，管理できる。
５．　経鼻胃管を挿入，管理できる。
６．　皮下ドレーンの管理ができる。
７．　皮膚切開と縫合及び抜糸ができる。
８．　手術的治療の介助ができる。
９．　呼吸管理（気管内挿管，気管切開）ができる。
１０．　術創の消毒などの処置ができる。
１１．　耳鏡検査ができる。
１２．　基本的な平衡機能検査ができる。
１３．　鼓膜切開ができる。
１４．　耳管通気法ができる。
１５．　嗅覚，味覚，顔面神経機能検査ができる。
１６．　鼻鏡検査ができる。
１７．　鼻出血止血処置ができる。
１８．　鼻腔通気度検査ができる。
１９．　鼻咽腔，喉頭ファイバースコープで所見がとれる。
２０．　咽頭異物除去ができる。
２１．　インターネットを使用し文献検索ができる。
２２．　症例提示と討論ができる。

詳しい検査をオーダーする能力：
１．　聴覚検査
２．　アレルギー検査
３．　副鼻腔 CT 検査，MRI 検査
４．　副鼻腔，頚部，咽頭，喉頭 CT 検査，MRI 検査
５．　副鼻腔，頚部，咽頭，喉頭 X 線検査
６．　細菌培養検査
７．　音声検査
８．　迅速溶連菌抗原テスト
９．　いびき検査

【方略】研修方法

１．主に入院患者を数名担当し，上級医，指導医とともに診療に当たる。
２．上級医の指導の下に外来患者の診療に参加する。
３．総回診あるいはケース・カンファランスで症例提示を行う。
４．病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針について説明する。
５．担当した患者に関する文献をインターネット等で検索し，科学的に吟味してカンファランスで紹介し討論する。

指導医

山田武千代，鈴木真輔，川嵜洋平，椎名和弘，鈴木仁美，山田俊樹

耳鼻咽喉科ホームページ：

http://www.med.akita-u.ac.jp/~jibika/

耳鼻咽喉科についてのご質問は，

鈴木真輔

e-mail ; suzukis@med.akita-u.ac.jp

TEL：018-884-6171 FAX：018-836-2622

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:00	症例検討会		抄読会	病理検討会1回/月	回診
8:30	教授回診	医局会	Ｘ線読影	Ｘ線読影	Ｘ線読影
9:00	外来 病棟治療 手術	外来 病棟治療	外来 病棟治療 手術	外来 病棟治療 難聴外来(1 回/3週)	外来 病棟治療 手術
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13;00	手術		手術 難聴外来（1 回/3週）	アレルギー外来 （2回/月）	手術 手術検討会
16:45	放射線科との合同カンファランス				